



# 大竹中学校だより

〒739-0614 広島県大竹市白石一丁目 8-1  
☎(0827)52-5177 Fax(0827)52-5178  
【HP】members.fch.ne.jp/otakejhs/



-いのち輝く学校-  
令和4年12月2日(金)  
第30号  
大竹市立大竹中学校  
校長 十亀 琢磨

☆☆「大竹中学校だより」カラー版は、大竹中学校ホームページでご覧いただけます。☆☆

## 2-1 ハートプロジェクト ～ねえ、だれか教えて～

私たちは「ねえ、だれかおしえて」という本をもとに動物の殺処分について考えました。また、広島を取組、全国の取組を調べました。まずは本の内容を紹介します。

みんな、犬は好き？ボクの飼い主さんも、はじめは大好きでいてくれたんだ。仔犬のころは、たくさん遊んでくれて頭やからだをいっぱいなでてくれた。とっても優しくて幸せだったんだ。でもね、この頃家族のみんなが、あんまりボクを見てくれないんだ。何か悪いことをしちゃったのかな…。そんな時、久しぶりにパパが近くに来てくれたんだ。パパはボクがつながれた鎖をゆっくり持ち上げて、「行こう」って言った。「どこ行くの？」って言ったらパパは「ごめん」って頭をなでた…。それでもボクは「久しぶりにお出かけだっ！」と思って、喜んでパパの横を歩いたんだ。着いたところは、はじめて来る場所だった。いくつかあるお部屋には、ボクの知らない仔犬たちがたくさんいた。パパは、ボクの鎖を引き、そのお部屋の中に入れようとした！ボクは「いやだっ！」って必死にふんばった。だって、ここは寒いし、怖かったんだ。でもね、しばらく暮らしてわかった。ここにいる人達は優しい。いつでも目を見て話しかけてくれるし、お散歩も行ってくれるし、ごはんだってたくさんくれる。でもやっぱりお家がいいんだ。そして今日も隣のお部屋に引っ越しだ。これで最後の引っ越しみたいだ。だってこれ以上部屋はない。ここが一番奥の部屋だから。でもこのお部屋、なんだか息ができなくて、すごく苦しいんだ。「ねえ、誰か教えて」「殺処分って何？」「それが終わると帰れるの？」早くお家に帰りたい。あったかいお部屋で眠りたい。最後の時間はみんなの横にいたい。でもね、ボクは待つことしかできないんだ。「だってボクしゃべれないから」ボクはちょっとだけ泣いて眠くなった。もしボクの目が覚めたらね、首輪をはずしてほしいんだ。だってずっと苦しかったから。ねえ、ボクなんでこのお部屋に入らなければ？いけなかったの？ねえ、だれか教えて。

このお話は、殺処分に対する犬の気持ちが書かれている作品です。ペットを飼えなくなるという状況には、どんな事情があるのでしょうか？今の広島は、2016年の4月から今まで殺処分数が0を継続しています。なぜかと言うと、NPO法人のピースワンコジャパンプロジェクトが捨て犬や迷い犬の保護、譲渡の他、保護した犬を「人を助ける犬」として災害救助犬やセラピー犬に育成する活動を行っているからです。「動物の殺処分」についての2年1組の感想は、

○野良の動物に感情でエサをあげるのはいいように見えていけないことだと分かりました。動物を飼うということの責任が少しわかりました。

○いろんなペットが殺処分されているんだとわかりました。でも、広島のように殺処分を0にする団体が増えて、国や県も協力してもっと殺処分を減らすことができたらいいなと思いました。

○身勝手な行動のせいで、大切な動物の命がなくなることはいけないことだと思いました。どんな人でも動物は責任を持って最後まで飼うべきだと思いました。人間がペットを「飼う」という言い方をせず、動物も人間も対等な関係になっていったらいいと思いました。

○人は命を大切にしないといけないと教えられるのに、変な理由で動物の命を簡単にうばうんだと思いました。みなさんも考えてみてください。



# 発表を聞いての感想の紹介



人間は、軽い気持ちで犬や猫を飼うけれど、それは自分の癒しとして飼うから、飽きてしまうとすぐにすててしまうということがわかりました。犬や猫にとっては、命を預けていることと変わらないのに、人は、その命を癒しとして「自分のため」に飼っているこの現状はよくないと思いました。私は家で飼っている猫や犬には、もっと遊んであげようと思いました。(1年1組)

飼っている動物を、責任をもって飼うということが大切なんだなと思いました。命を無駄にしないという考えが、さらに深まりました。どうしてそんなに簡単に飼っている動物を捨てられるのかなと思いました。

これからは、このハートプロジェクトの話を生かして、一つの命を大切に思い、動物を飼うときは、責任をもって最後まで飼うべきだなと思いました。

(1年2組)

仲良かった犬と飼い主だけ、急に殺処分所に連れて行かれたと聞き、泣きそうになりました。私もお母さんに犬を飼いたいと言っているけれど、飼う責任を考えて、亡くなるまで犬に愛情をあげられるか、生き物を育てるのは大変なんだと考えた上で、飼いたいと言おうと思いました。犬にだって声に出して伝えられないけど、意志や気持ちがあるから生き物を飼う時は、最後まで犬を幸せにできるか考えて飼いたいです。(1年3組)

言葉を話して人間と対話できない動物が、このように殺処分されてしまうといった現状が、意味不明な理由であることがわかりました。犬であろうと猫であろうと命はみな等しく尊いものであるという考えをもっと大切にしないと、犬・猫だから命は物といっしょであると考える人が今よりもっと増えていくと思いました。違う生き物の気持ちをわかろうとしないといけないと思いました。(2年1組)

動物を飼育することはとても大変で、「飼えなくなった」というだけで殺処分されてしまうのは、残酷だなと思いました。一つの命なのに、勝手に殺処分されてしまわれるのは、犬にとっても自分にとっても最悪なことだと思いました。広島県では、殺処分数は0だけど、それ以外の地域でまだ続けられているのを止めないといけないと思いました。動物や人の命をもっと大切にしていきたいです。(2年2組)

動物と一緒に暮らす、飼うということは、どれほどの責任や動物に対する強い思いやりがあるのかがよく分かった。人間は中途半端な気持ちで動物たちをペットとして飼っているが、飼うことは一つ命を預かるということだから、そんなことだったらペットとして飼わない方がいいのかなと思った。広島は動物たちを保護する団体がある。そんな団体をもっと増えたらいいと思った。(2年3組)

ペットたちの命を軽く考えないで、もっと大切にあげてほしいなと思いました。ペットを飼うのにちゃんと最後まで一緒にいてあげられる人に飼ってもらいたいです。責任をもってほしいです。人間よりも寿命が短い分、たくさん愛情を注いで、わんちゃん、ねこちゃんが幸せだったなって思える一生にしてあげてほしいなと思いました。ペットたちの命を簡単に消してしまわない世界にできたらとても素敵だなと思いました。(3年1組)

動物を飼う時には、その動物が亡くなるまで、飼うという責任が大切だと思った。そして広島では殺処分される動物が0だということにびっくりした。この活動を世界に広げていったら、殺処分される動物がすごく減ると思いました。

自分も動物が好きで、将来犬を飼いたいと思っているので、責任を持って最後まで可愛がろうと思いました。

(3年2組)

動物が飼えなくなってしまった、飼えないという飼い主もいるかもしれないけれど、その動物の命を無駄にすることがなくなったら良いなと思いました。「命を大切にする」というのは人間の命だけでなく、動物の命も入るんだということを今日、改めて考えることができました。動物を飼うときには、きちんと責任を持って飼うことが大切だと思いました。動物の命も無駄なく大切にしたいなと思いました。

(3年3組)